

デジタル田園都市国家構想総合戦略

デジタルの力を活用した地方創生の加速化・深化に向けて

令和5年度から令和9年度の5年間を計画期間とする安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略を令和6年2月に策定しましたので概要をお知らせします。

策定した目的は？

新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタルの加速化など社会情勢が大きく変化してきていることを背景に、国は「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定しました。

安平町においても、これまで進めてきた人口減少対策の柱となる「第2次安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をベースとして、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かしながら地域課題の解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化させることを目的として策定（改訂）しました。



今後、どのような取り組みを進めていくの？

地方創生の加速化・深化に向けて、地域資源の活用、潜在能力の発見およびデジタル技術を活用した取り組みを行います。



● 主な取り組み・事業

「子育て世代に選ばれるまち」「生涯住み続けられるまち」に向けて進めていくデジタル技術を活用した取り組みは次のとおりです。

雇 用	●企業の滞留を促すためのコワーキングスペースやシェアオフィスの整備、サテライトオフィス誘致事業 など
子 育 て	●デジタル機器を活用したリモートでの健康相談
教 育	●GIGAスクール構想の推進（プログラミング学習の支援・実践、ICT機器、デジタル教材等の教育環境の整備） ●デジタル社会に対応した学習機会の提供および調査・研究 など
く ら し	●情報通信基盤の整備（公共施設のWi-Fi整備） ●医師等と患者との間での遠隔診療体制の導入検討 ●商業後継者確保に向けた継業バンク・オンライン問い合わせ など
情報発信	●オンライン町役場、移動町役場サービスの導入検討 ●地方税統一の二次元バーコードを活用した電子納付への対応 ●デジタルスキルのリスキング事業（必要なスキルや知識の習得） ●スマートフォン教室の開催 など